

東京港における植物の輸入状況（令和 3 年）

東京港は首都圏の一大消費地を背後に、令和 3 年も 24 年連続で国内最多のコンテナ貨物を取扱い、国民生活と産業活動を支える物流拠点として重要な役割を担っている。

令和 3 年の東京港における植物検疫対象輸入植物の概要は表のとおりで、重量ベースで 181.3 万ト（前年比 94.5%）と 3 年連続で減少となった。輸入植物の生産国は 97 の国と地域に及び重量ベースでみると、全体では米国が第一位で 4 割以上を占めている。

栽植用植物：前年比 100.1%と増加した。草花類など 7 ヲ国から輸入された。主な品目は、中国産ヒカゲノカズラ属苗 1,500 千個（同 89.7%）、ベトナム産ファレノプシス属苗 688 千個（同 104.7%）が定期的に輸入された。

栽植用球根：前年比 98.6%と減少した。主な品目は、ユリ 1,845 万球（同 98.0%）、スイセン 50 万球（同 100.0%）、アマリリス 9 万球（同 94.7%）であった。5 ヲ国から輸入され、オランダ産が約 7 割以上を占めている。

栽植用種子：前年比 96.2%と減少した。主な品目は飼料・緑肥作物、野菜などで 26 ヲ国から輸入され、6 割以上が米国産である。全体の 4 割以上を飼料・緑肥作物が占め、1,136 ト（同 85.0%）と減少した。

切花、切葉、切枝：前年比 104.3%と増加した。キク 10,251 万本（同 115.8%）、カーネーション 3,335 万本（同 110.7%）、ヒサカキ 9,932 万本（同 101.6%）など、多種類の切花、切葉類が 7 ヲ国から輸入された。全体の約 6 割を占める中国産は 18,727 万本（同 104.3%）と増加した。

果実：前年比 97.0%と減少した。39 ヲ国から輸入され、コンテナ本数 6,642 本（対前年-1,393 本）と減少した。全体の 6 割以上を占めるバナナは 240,784 ト（同 101.3%）と増加し、中でも専用船積フィリピン産は 193,399 ト（同 103.2%）と増加であった。次いでパイナップル 43,407 ト（同 124.8%）と増加し、中でも台湾産が 8,804 ト（同

717.5%）と増加であった。キウイフルーツは 37,942 ト（同 93.0%）と減少し、ニュージーランド産が 36,421 ト（同 95.1%）と 8 年ぶりに減少した。柑橘類のグレープフルーツ 16,252 ト（同 79.2%）とオレンジ 13,949 ト（同 90.7%）は減少し、レモン 6,460 ト（同 135.5%）は増加であった。

野菜：前年比 93.7%と減少した。29 ヲ国から輸入され、コンテナ本数 12,764 本（同-1,264 本）と減少し、過去 10 年で最も少ない本数となった前年を大きく下回った。8 割以上を占める中国産は 214,591 ト（同 94.6%）と減少し、次いでニュージーランド産が 15,369 ト（同 94.6%）と減少、米国産は 7,124 ト（同 70.6%）と主要産国は全て減少となった。主要品目の約 4 割を占めるタマネギは 107,846 ト（同 107.9%）、凍結野菜 34,517 ト（同 104.0%）は増加した。次いでニンジン 30,503 ト（同 83.6%）、ナガネギ 21,214 ト（同 83.2%）は減少であった。

穀類：前年比 78.6%と減少した。32 ヲ国から輸入され、5 割以上が専用船積コムギで 145,798 ト（同 78.7%）と減少した。モルトは 12 ヲ国から輸入され 74,910 ト（同 72.2%）、コンテナ本数 3,582 本（同-1,212 本）と減少した。

豆類：前年比 102.2%と増加した 19 ヲ国から輸入され、9 割以上がダイズで 128,940 ト（同 102.6%）、コンテナ本数 6,443 本（同+201 本）と増加した。

嗜好香辛・薬染料・その他食品：前年比 114.5%と増加した。79 ヲ国から輸入され、アーモンド 20,878 ト（同 121.2%）、クルミ 11,048 ト（同 123.4%）と増加した。

油料・肥飼料・その他雑品：前年比 98.1%と減少した。45 ヲ国から輸入され、乾燥牧草が 500,156 ト（同 97.7%）と減少した。主要産地別コンテナ本数は米国 17,812 本（同-1,012 本）、カナダ 3,590 本（同+605 本）であった。

木材：前年比 3410.0%と増加した。米国、台湾の 2 ヲ国から 341m³輸入された。（業務グループ 青島 英夫）

表 植物の分類別輸入数量（東京港）

分類 単位 年次	栽植用植物	栽植用球根	栽植用種子	切花切葉切枝	果実	野菜	穀類	豆類	嗜好香辛料・他辛染食料品	油料の飼料雑品	木材	* 合計
	(千個)	(千個)	(千トン)	(千個)	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(千トン)	(m ³)	(千トン)
令和3年	2,454	20,257	2.5	316,836	420	254	272	138	63	663	341	1,813
令和2年	2,451	20,542	2.6	303,650	433	271	346	135	55	676	10	1,919
令3/令2年比(%)	100.1%	98.6%	96.2%	104.3%	97.0%	93.7%	78.6%	102.2%	114.5%	98.1%	3410.0%	94.5%

* 合計は、重量単位の数量のみ集計した。

くん蒸施設の継続指定審査終わる

植物防疫所指定くん蒸施設は、3 月末日をもって 3 年の指定期間が満了となり、改めて継続指定審査が行われ、4 月 1 日付で下表のとおり指定された。

当協会も本業務が円滑に実施されるよう関係者に対する案内、継続指定スケジュール調整、実施審査の立会等に協力した。(業務グループ 青島 英夫)

植物防疫所指定くん蒸倉庫(東京港)

施設名	所在地	倉庫(うち特A級)			サイロ	
		倉庫	内容積 m ³	備考	基数	取内容 t
㈱ベガサスグローバルエクスプレス	大田区東海 6-3-1	9	19,135	青酸可		
		(9)	(19,135)			
日本通運 ㈱	大田区東海 6-3-2	22	65,016	青酸可		
		(22)	(65,016)			
早川海陸輸送 ㈱	大田区東海 4-9-7	2	1,840	青酸可		
三井倉庫 ㈱	江東区青海 4-6-21	2	2,225	青果臭化可		
インターナショナルエクスプレス ㈱	大田区東海 4-9-12	1	738	青果臭化可		
川西倉庫 ㈱	大田区東海 4-7-18	1	503	かくはん有		
㈱上組多目的物流センター	江東区青海三丁目地先	15	59,407	青酸可		
		(15)	(59,407)			
日東富士製粉 ㈱	大田区東海 6-2-1	3	828	かくはん有	74	95,382
ケイヒン ㈱	江東区青海 4-4-19	2	6,118			
		(2)	(6,118)			
東洋埠頭 ㈱	大田区東海 6-1-5	12	37,217	青酸可		
		(12)	(37,217)			
		82	246,819			
合計		(61)	(187,280)		74	95,382

検疫有害動植物及び輸入検疫措置対象等の

見直し(第8次改正)について

農林水産省は、諸外国における病害虫の発生状況及び植物検疫措置の実施状況について調査を行い、日本における農業生産への影響の評価を含むリスクアナリシスを行った結果、検疫有害動植物及び輸入検疫措置対象等を見直す必要が生じたとして、令和4年3月22日付けで植物防疫法施行規則(以下「規則」)等を改正した。改正された規則等は3月23日から適用された。概要は以下のとおり。

1. 検疫有害動植物の見直し

検疫有害動植物(規則別表1)

- ・新たに1種を指定(*Grapevine red blotch virus*)。
- ・1種を削除(*Grapevine leafroll-associated virus 8*)
- ・1種を再分類による学名の変更

(*Ceratocystis fagacearum*→*Bretziella fagacearum*)

種類数は計1,023種から変更なし

2. 輸出国に対して求める輸入検疫措置の見直し

既存の検疫有害動植物26種について、対象植物又は対象地域の追加・削除、対象地域の表記の変更、検疫措置の選択肢の追加等の輸入検疫措置を変更(規則別表1の2、別表2及び別表2の2)。

(1) 栽培地検査の対象とする地域・植物の見直し

会員・役員の変動(令和4年2月1日~令和4年3月31日)

☆入会会員

- 2月14日 ㈱ 日本農業[商社] 〒141-0031 品川区西五反田1-13-7 ☎03(6431)8614
- 2月21日 ㈱ 松武[商社] 〒143-0001 大田区東海3-2-6 ☎03(5492)3105
- 3月17日 ハナマルキ ㈱[商社] 〒103-8205 中央区日本橋茅場町2-15-4 ☎03(5651)3035

☆退会会員

- 3月31日 ㈱サイメックスコーポレーション、トランタス ㈱、㈱ニチリウ永瀬、㈱ランディス

【規則別表1の2】2項 トマトキバガ

対象地域の追加:台湾、中華人民共和国、パキスタン等
※東京港には中国産シマホオズギ生果実の輸入実績があり、改正後、対象植物となった。

(2) 輸入禁止となる地域・植物の見直し

【規則別表2】2項 ミカンコミバエ種群

対象地域の追加:オマーン、マラウイ、モーリシャス

(3) 輸出国での特別な検疫措置(検疫処理、遺伝子診断等の精密検査)の対象とする検疫有害動植物及び地域・植物の見直し

【規則別表2の2】5項 カリブミバエ

寄主範囲の見直し:なし属植物(なしから変更)の生果実
見直し(第8次改正)の詳細につきましては、植物防疫所ホームページでご確認下さい。

東京植物検疫協会事務局人事

○4月1日付

総務グループ長 青島 英夫(業務グループ長)

業務グループ長 大西洋(業務グループ課長)

業務グループ課長(青海・品川地区担当) 西村 洋一
(業務グループ課長代理(総合調整))

業務グループ課長(大井地区担当) 人見 哲也
(業務グループ課長代理(総合調整))

👁️ タイム eye 📷

業務グループ トルコ産タンゴ生果実初輸入

令和 3 年 12 月 23 日トルコ共和国産マンダリンとオレンジの交雑種であるタンゴが東京港に初輸入され、検査結果は合格となった。

トルコからのかんきつ類についてはチチュウカイミバエの発生国であることから輸入禁止植物となっており、平成 22 年 8 月に低温処理を実施することを条件にグレープフルーツが解禁された。平成 26 年にレモンが追加。平成 30 年にその他のグレープフルーツ・その他のレモンと記載が変更され、令和 3 年にはオレンジ等、マンダリン等、マンダリンとオレンジの交雑種等が追加され、トルコから条件付きで輸入できるかんきつ類は広がりを見せている。

タンゴはダブルマーコットの種なし品種であり、小さなミカン程度のサイズ。みかんよりオレンジ色が濃く鮮やかだ。(写真)



低温処理基準については輸入されるかんきつの種類によって基準が異なっており、マンダリンとオレンジとの交雑種等については、生果実の中心部が摂氏 2.0 度となった後、引き続き 18 日間その温度以下、又は生果実の中心部が摂氏 3.0 度となった後、引き続き 20 日間その温度以下で消毒されたことの確認が必要である。

トルコは国の三方が海で囲まれており、内陸部の高地と沿岸部などでは気候環境差が大きく、様々な農業生産が行われている。特に黒海寄りの地域で生産されることが多いヘーゼルナッツは世界の生産量の半数を超える。かんきつ類に関しては反対側にあたるエーゲ海や地中海寄りの温暖な海岸地域で生産され、欧州などに盛んに輸出されている。

実際に購入して食してみたが、皮は薄く、手で剥くことが出来る。種もなく、薄皮も口に残ることなく、ミカンのように手軽に口に放り込める。食味はみかんにはない濃厚な甘味が口に広がる。店頭で見かけたら是非手に取って試していただきたい。

(業務グループ 大西 洋)

業務グループ オランダ産・スペイン産

生鮮タマネギの輸入について

今年 1 月、2 月に東京港入港コンテナ船でオランダ産とスペイン産の生鮮タマネギが輸入され、検査は無事合格となった。スペイン産は同港に 2014~5 年に少量の輸入実績はあるが、オランダ産は初輸入となった。

輸入された品種は共にポピュラーな赤茶色の皮が付いた「黄タマネギ」で、保存性を高めるため表皮が乾燥され、湿気を嫌うため通気性の良いネット袋に梱包されている。(写真)



いずれの産地も西・南ヨーロッパから出荷のため、積出港であるロッテルダム港やバレンシア港などから、スエズ運河とマラッカ海峡を經由する「ヨーロッパ航路南回り」で、約 2 万 1 千 Km を 30 日以上の日数をかけ輸入される。航路により日本直行便が無く、シンガポール、上海などの経由港で日本向け本船へトランシップされる場合、更に日数が加算される。生鮮野菜にとっては過酷な長旅になるが、最新リーファーコンテナは、コンテナ内の窒素量などを調整し、鮮度を維持できる CA 技術の機能向上により劣化を防止する構造となっている。

東京港の 2021 年生鮮タマネギ輸入状況については、107,846 トン（前年対比 107.9%）と増加であった。全野菜輸入量の 4 割以上を占め、主要産国の中国、ニュージーランド、米国など、5 カ国から輸入された。中でも 9 割以上が中国産皮剥きタマネギで主要産国は全て増加となった。輸入量増加理由の一つに国産（北海道産）の干ばつによる不作の影響から、収穫量の減少、価格の高騰、作柄が小玉であったことなどが挙げられる。輸入タマネギは中食、外食向けの加工・業務用として、加工に適した大玉でバラつきのないサイズなど、必要不可欠な食材として国産とすみ分けが出来ている。

近年、輸出国の国内需要増や加工費値上げによる価格の高騰、輸出国でのコロナの影響による様々な弊害、世界的なコンテナ不足から物流の混乱、コンテナ運賃の値上げなど、輸入環境が厳しい中、加工・業務需要に対し、貨物停滞のリスク管理から、今後も新規産地を求める動きがあると思われる。(業務グループ 青島 英夫)

東京港輸入植物品目別統計表

(1月 - 2月累計)

品 目	単 位	コンテナ 詰			在 来 船 積		合 計	
		本 数	検 査 数 量	不 合 格 数 量	検 査 数 量	不 合 格 数 量	検 査 数 量	不 合 格 数 量
栽植用植物	個	11	331,492	10,048	0	0	331,492	10,048
栽植用球根類	個	12	1,221,474	0	0	0	1,221,474	0
アマリリス	"	7	63,624	0	0	0	63,624	0
チューリップ	"	0	0	0	0	0	0	0
ユリ	"	5	1,157,850	0	0	0	1,157,850	0
栽植用種子	kg	42	517,822	0	0	0	517,822	0
草花・樹木	"	1	591	0	0	0	591	0
野菜	"	15	48,885	0	0	0	48,885	0
普通・特用作物	"	9	133,339	0	0	0	133,339	0
牧草・芝草	"	12	262,228	0	0	0	262,228	0
切花、切葉、切枝	個	288	41,866,400	2,721,750	0	0	41,866,400	2,721,750
アンズリューム	"	0	0	0	0	0	0	0
オンシジューム	"	24	967,400	26,790	0	0	967,400	26,790
キク	"	141	13,482,136	0	0	0	13,482,136	0
シダ(レザーフアン)	"	18	3,087,000	0	0	0	3,087,000	0
果 実	kg	788	13,385,870	539,736	36,666,167	29,571,278	50,052,037	30,111,014
オレンジ	"	113	1,993,275	0	0	0	1,993,275	0
グレープフルーツ	"	97	1,957,462	20,207	0	0	1,957,462	20,207
タンジェロ(ミネオラ)	"	24	391,994	0	0	0	391,994	0
レモン	"	42	771,266	0	0	0	771,266	0
パインアップル	"	81	1,303,775	275,785	3,839,647	3,401,149	5,143,422	3,676,934
バナナ	"	142	2,230,890	214,929	32,826,520	26,170,129	35,057,410	26,385,058
マンゴウ	"	0	0	0	0	0	0	0
キーウイフルーツ	"	33	528,155	0	0	0	528,155	0
ブドウ	"	5	69,382	0	0	0	69,382	0
野 菜	kg	2,181	43,974,618	50,000	0	0	43,974,618	50,000
カボチャ	"	170	4,094,172	50,000	0	0	4,094,172	50,000
サヤエンドウ(キヌサヤ)	"	1	16,800	0	0	0	16,800	0
パプリカ	"	18	192,635	0	0	0	192,635	0
メロン(ハミウリ含む)	"	0	0	0	0	0	0	0
キャベツ	"	7	389,494	0	0	0	389,494	0
セロリ	"	0	0	0	0	0	0	0
ナガネギ	"	217	2,904,132	0	0	0	2,904,132	0
ニンニクの芽	"	2	154,779	0	0	0	154,779	0
ハクサイ	"	0	0	0	0	0	0	0
ブロッコリー	"	18	212,460	0	0	0	212,460	0
レタス	"	149	1,707,456	0	0	0	1,707,456	0
タマネギ	"	884	21,805,709	0	0	0	21,805,709	0
ニンニク	"	101	1,916,454	0	0	0	1,916,454	0
アスパラガス	"	0	0	0	0	0	0	0
ゴボウ	"	49	1,277,100	0	0	0	1,277,100	0
サトイモ	"	9	189,470	0	0	0	189,470	0
ショウガ	"	66	1,505,680	0	0	0	1,505,680	0
ニンジン	"	68	1,642,570	0	0	0	1,642,570	0
こく類	kg	910	18,623,014	0	13,727,200	0	32,350,214	0
オオムギ	"	2	45,000	0	0	0	45,000	0
エンバク	"	50	1,067,289	0	0	0	1,067,289	0
コムギ	"	1	1,401	0	13,727,200	0	13,728,601	0
コメ	"	99	1,814,667	0	0	0	1,814,667	0
ソバ	"	54	1,097,532	0	0	0	1,097,532	0
トウモロコシ	"	53	929,969	0	0	0	929,969	0
モルト	"	635	13,365,144	0	0	0	13,365,144	0
まめ類	kg	1,136	22,551,168	0	0	0	22,551,168	0
エンドウ	"	12	255,000	0	0	0	255,000	0
ダイズ	"	1,034	20,486,827	0	0	0	20,486,827	0
ラッカセイ	"	67	1,481,140	0	0	0	1,481,140	0
嗜好香辛、薬染料、その他食品	kg	806	12,847,955	0	0	0	12,847,955	0
カカオ	"	3	51,540	0	0	0	51,540	0
コーヒー	"	14	98,370	0	0	0	98,370	0
タバコ	"	137	2,503,800	0	0	0	2,503,800	0
アーモンド	"	231	4,010,227	0	0	0	4,010,227	0
クリ	"	3	46,000	0	0	0	46,000	0
クルミ	"	141	2,555,383	0	0	0	2,555,383	0
ポップコーン	"	54	1,082,186	0	0	0	1,082,186	0
油料、肥飼料、その他雑品	kg	4,673	105,069,638	0	0	0	105,069,638	0
乾燥牧草(ヘイ)	"	3,333	77,055,377	0	0	0	77,055,377	0
アニマルフィード	"	3	56,145	0	0	0	56,145	0
アルファルファペキュア・ペレット	"	233	5,903,898	0	0	0	5,903,898	0
コーンコブミール	"	10	225,100	0	0	0	225,100	0
飼料用大豆カス、ペレット	"	125	2,951,149	0	0	0	2,951,149	0
ビートパルプペレット	"	65	1,436,461	0	0	0	1,436,461	0
イネワラ	"	38	569,974	0	0	0	569,974	0
ココピート	"	177	3,566,056	0	0	0	3,566,056	0
ココヤシ園芸資材	"	50	1,084,945	0	0	0	1,084,945	0
ビートモス	"	273	6,046,389	0	0	0	6,046,389	0
ミズゴケ	"	6	14,456	0	0	0	14,456	0
タケ	"	18	262,418	0	0	0	262,418	0
木材	m³	0	0	0	0	0	0	0
** 総 合 計 **	kg	10,536	216,970,085	589,736	50,393,367	29,571,278	267,363,452	30,161,014
	個	311	43,419,366	2,731,798	0	0	43,419,366	2,731,798
	m³	0	0	0	0	0	0	0

注) 主要品目のみ掲載。携帯品、郵便物及び他港からの荷受分は含まない。